

平成 26 年度 9 月補正予算案の概要

1 総 括

埼玉高速鉄道株式会社の抜本的な経営再構築を支援する経費に予算措置を講じるとともに、防災拠点等に再生可能エネルギーの導入を図るほか、緊急性が高く県民生活に直結した事業を中心に補正予算を編成した。

2 補正予算の規模

一般会計	355億5,529万2千円
(補正後累計)	1兆7,907億5,082万9千円)
企業会計(病院事業)	6億3,000万円

3 主な内容(特に記載のないものは一般会計の内容)

○ 埼玉高速鉄道株式会社の抜本的な経営再構築の支援

新同社の金融機関からの借入金に対する損失補償の履行
327億5,183万9千円

○ 防災拠点等への太陽光発電設備と蓄電池の設置

・さいたま環境創造基金の積み増し 1億5,331万3千円
新県有施設への導入 4億5,226万6千円
新導入市町への補助 6億6,511万8千円

○ その他

・大雨等により被災した公共施設(道路、森林管理道等)の復旧 1億8,602万7千円
 ・緊急雇用創出基金を活用した事業の追加
 うち職場における処遇改善事業 3億1,405万5千円
 <債務負担行為の設定> 限度額: 1億1,626万4千円
 うち住まい対策事業 1億4,147万6千円
 ・上尾地方庁舎における防災行政無線施設の整備
 <債務負担行為の設定> 限度額: 2億3,055万3千円
 ・県議会のテレビ放送の実施 5億7,343万3千円
 ・小児医療センター新病院建設工事における汚染土壌の処理<病院事業会計>
 6億3,000万円

4 主な財源(一般会計)

・国庫支出金 22億1,306万1千円
 ・繰入金 2億4,392万5千円
 ・繰越金 2億3,711万6千円
 ・県債 328億5,700万円